

くまもと花博実行委員会
令和7年度第4回総会 次第

日時：令和8年（2026年）3月30日（月）16時00分～

場所：熊本市議会棟2階 予算決算委員会室

1 開 会

2 主催者挨拶 実行委員会会長 熊本市長 大西 一史

3 報 告

報告第1号 くまもと花博2025開催報告について

報告第2号 くまもと花博2025決算見込みについて

報告第3号 一人一花運動について

4 議 事

議案第1号 くまもと花博2026実施概要について

議案第2号 まち山エリアの選定について

議案第3号 令和8年度予算（案）について

議案第4号 くまもと花博実行委員会委員の変更について

5 閉 会

く ま も と 花 博 実 行 委 員 会

令和7年度第4回総会

会 議 資 料

日時：令和8年（2026年）3月30日（月）16時00分

場所：熊本市役所議会棟 2階 予算決算委員会室

1. 街なかエリア 辛島公園および中心市街地一帯

1. 辛島公園エリア

花のトンネル

サクラマチクマモト前(シンボルプロムナード)にて全長約36mの花のトンネルを設置。約24,000人の方々にご来場いただいた。



★市民ボランティアの参加★



設置にあたっては、約50名の市民ボランティアの方々も参加し、花の飾りつけを行った。

辛島公園彩空間

熊本県産の花苗と竹を使用したフラワーアートを設置。夜間も楽しめるように竹あかりのライトアップを行い、多くの方に楽しんでいただいた。



花の小道

緑のマイスター企画として、ハンギングバスケットや寄せ植えを辛島公園の手すり周辺に設置。設置にあたって寄せ植えのワークショップも開催した。

Out Of Kidzania

キッズニアの熊本出展に合わせ、お花に関する体験ブースを出展。こどもたちが花の生産について学び、フラワードールを制作した。



高校生フラワーコンテスト

熊本県内高校生を対象としたフラワーアレンジメント・ガーデニング寄せ植え・花生けのコンテストを熊本城ホールにて開催。



2. オープニングイベント

花畑広場にて、熊本県森林フェスティバルとの合同開催。花のトンネルの開通式をはじめ、必由館高校と熊本の彼氏「杉本琢弥」氏とのコラボステージなど、花博の開幕にふさわしいイベントを展開。



ブース出展

オープニングイベントの会場にて、竹細工作りのワークショップをはじめ、お花屋さんの販売などのブースを設置



3. 新市街エリア

小国杉オブジェ

商店街企画として、大阪万博に出展した「小国杉オブジェ」を使用し、商店街の商品券が当たる抽選会を実施した。



トラック協会のオブジェ

熊本県トラック協会により、トラックをモチーフにした花のオブジェを新市街の入口に設置



県内市町村物産展

県内市町村と連携し花や緑に関する物販やワークショップを実施。

4. 中心市街地等タイアップ

【COCOSA】

店内装飾・ミニツリーワークショップ



【HAB@・OMO5熊本 by 星野リゾート】

館内装飾・FLOWER PHOTO SNAP
エコバック作成、フラワーキャンドル作成等



1. 街なかエリア 辛島公園および中心市街地一帯

5. 下通エリア

フラワーデザインコンテスト

市民参加型のアレンジメントコンテストを実施。47の作品が出品され、個性豊かな作品を展示。作品とあわせて「シチュエーションカード」を記入してもらうことで、作品に込めた想いとともにより楽しむことができる仕組み。アーケード通行者の方に投票してもらい、人気の3作品をエンディングイベントにて表彰した。



グリーンマーケット

下通3番街の商店街企画として、観葉植物をメインとしたマルシェを実施。コーヒーショップも出店し、ゆっくりお買い物を楽しめるイベントとなった。



フラワーアレンジメントワークショップ

街なかのアーケードにて、生花のアレンジメント制作が体験できるワークショップを実施。



フラワーマルシェ

熊本の町の花屋や教室で活躍しているフローリストや、店舗を持たない花屋さん達があつまる“花乃市庭”。切り花・ドライフラワー、花苗・多肉植物もこれら全てが揃う下通マルシェを実施。



肥後のつりてまり



生花装飾



熊本県産花き品評会



6. 上通エリア

フラワーワークショップ

商店街企画として商店街のみなさんが講師となってフラワーアレンジメントのワークショップを実施した。



肥後菊の展示

熊本の歴史と伝統の花、肥後六花の一つである「肥後菊」を上通アーケードにて展示。



上通フラワーガーデン ～花と香りに癒されるひととき～

商店街企画として、上通アーケード内に花のパーゴラを設置。商店街のみなさんを中心にボランティアによって装飾を作り上げ、花と香りの心地良い空間を演出した。



おとなりマルシェ

他部署連携で、既存の障がい関係のマルシェイベントに花やみどりに関するワークショップ等を実施。街なかのイベントと連携し抽選会も実施した。

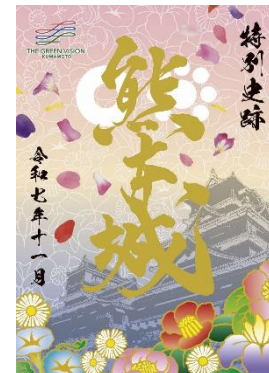


7. 熊本城エリア

花博限定Ver.御城印の販売

熊本城で常時販売している「御城印」の花博ver.を限定販売!

花博開催期間限定で、肥後六花をあしらった華やかなデザインのものを作成し販売した。



8. エンディングイベント



期間内に実施した、フラワーデザイン・ミニガーデンコンテスト受賞者の表彰式を行い、プレイベント(寄せ植え・竹あかり制作)にも参加したEXILE ネスミス氏と市長のトークセッションを行った。市民ステージとして済々黷のバンド演奏などのステージパフォーマンスも実施した。

2. 水辺エリア 水前寺江津湖公園一帯(動植物園含む)

1. 水前寺エリア

ジェーンズ邸フラワーダイニング

県内最古の洋館である「熊本洋学校ジェーンズ邸」を会場に、花を身近に感じられる空間を整備。座席周辺にたくさんの花を設置し、参加者が花と共に食事を味わえる場を提供した。



水前寺WhiteXmas(文化財課、観光政策課との共催)

ジェーンズ邸では館内外をクリスマス仕様に装飾するとともに、ライトアップを実施し、歴史的景観と光の演出が調和する魅力的な空間を形成した。白いポインセチアと白基調のフラワーゲートを設け、多様な催しとあわせて来場者が楽しめる場を整備した。



御庭印の販売(くまもと花博Ver.)

水前寺成趣園とのコラボ企画。



2. 上江津エリア

上江津及び下江津にて民間事業者・団体主催のイベントとのタイアップを実施した。

江津湖living



上江津探鳥会



3. 下江津エリア

みなも祭り



水辺エリア
来場者:15,661人



4. 動植物園エリア

ミニガーデンコンテスト

動植物園では、市民協働型イベントのミニガーデンコンテストを開催し、企業や市民が制作した20の花壇が並んだ。



動植物園フラワーダイニング

一人一花運動及び動植物園の菜の花さくら祭りとの共催で、フラワーダイニングを開催し、花と食を楽しむ場を提供した。



ナノハナ種まき体験

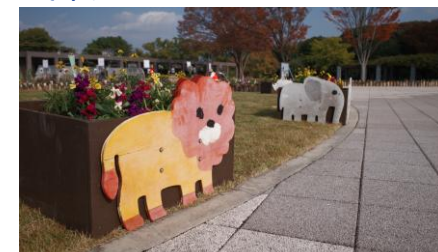
動植物園で行ったナノハナ種まき体験会には多くの市民が参加し、種まきを通して子どもたちの緑化への関心を深める機会となった。



かぐや姫プロジェクト



動物プランターストリート



たねダンゴづくりWS



肥後六花のPR



3. まち山エリア 託麻三山一帯

1. 小山中周辺エリア

アートトレイルin託麻三山

地域の方々が整備を行っている小山中で、間伐された木や竹を使用してCHIKAKENプロデュースによる、幻想的な空間を演出し、訪れた方々に自然と光が織りなす特別な体験を提供した。



竹山アスレチック

里山の竹をそのまま活用した空中アスレチックや竹のブランコ、ジャングルジム等を設置した。子どもたちにとって特に人気の場となった。



キッチンカー大集合

会場付近にはキッチンカーが出店しイベントを一緒に盛り上げた。



Machi-YAMA Area



まち山エリア
来場者：13,807人

たくまの秋 史跡巡り

託麻地域に点在する史跡の魅力を紹介する取り組みとして、たくま八十八ヶ所巡りの史跡と札所を巡るウォーキングイベントを開催した。参加者は、地域の歴史や文化に触れる機会となった。



放置竹林の竹を活用“かぐや姫プロジェクト”

放置竹林の間伐した竹を活用して、竹のプランターを制作。それに小・中学校とこども園の皆さまが花博用に花を植え付けてくれ、水辺エリアの動植物園とまち山エリア（アートトレイルin託麻三山 入口）に装飾を実施した。竹のプランターは、熊本県森林組合連合会と、放置竹林対策の活動している森林の活動団体の皆さまがボランティアで制作してくれたもの。沢山の方々が関わり作り上げた、“かぐや姫プロジェクト”は花博会場をより華やかに彩った。



神園山・小山中 夕暮れハイキングクエスト

神園山・小山中で夕暮れ時に山頂を目指してハイキングをスタート。参加者はクイズを解きながら楽しく山頂まで登りました。



2. 神園山周辺エリア

学んで遊べる木育広場

県産の木材を車内に使用した木育バスや木育遊具を設置。小学校高学年まで楽しむことのできる空間となった。また、木工教室として1日50個限定でお箸やカップなどの制作ができるワークショップ開催した。木と触れ合うイベントとなった。



自然観察会・生き物探し

神園山周辺に住む生き物観察イベントを実施。参加者は神園山周辺の自然や魅力に触れ合う機会となった。



収穫試食体験

神園山荘駐車場で託麻北校区よりいただいた芋を使用して芋ほり体験を実施した。掘ったサツマイモはそのままふかして試食した。



神園山ロープクライミング

自然の中で普段味わう事の出来ない体験が子どもたちに大人気のアクティビティとなった。



3. 戸島山周辺エリア

里山体験イベント

地元の里山整備を行う団体の皆さまや熊本市緑のマイスター「竹むすび班」にご協力いただき、実際の竹の伐採体験や、伐採した竹を使用したワークショップを実施した。お持ち帰り用として「かぐや姫」（竹の植木鉢）や一輪挿し用竹筒の作成を行った。また、伐採体験で出た竹を使って竹飯盒づくりにも挑戦し、里山整備団体提供のカレーとともに試食を実施。森林整備の重要性を学びながら、竹を活用する楽しさややりがいを体感できる貴重な機会となった。



小山上天満宮「こども相撲大会」こども相撲大会とタイアップを行い、参加者には花の種、各競技優勝、入賞者には花苗の寄せ植えセットを配布した。



4. 広報関係

広報の取組み一覧

インフルエンサーの活用



TikTokで約117万人。SNSの総フォロワーは190万人を持つ、熊本市出身の若手インフルエンサーの杉本琢也さんとコラボし、広報活動を展開。10代や20代などをターゲットとしたイベントInstagramでの広報も積極的に実施した。

SNS掲載 (Instagram、LINE、X等)



SNSを活用し、写真や動画とともにイベントの情報と魅力を発信。若年層を中心に幅広い層へ迅速に周知し、イベントの関心向上と来場促進につながった。

くまもと花博専用HP



メインビジュアルに合わせて熊本市のHPにはない統一感を演出。花博コンセプトページをはじめ、それぞれのイベント詳細が分かりやすいページ構成に心掛け、多くの方にHPを閲覧いただいた。

ポスター・チラシ・広報紙掲載



くまもと花博の開催にあたり、イベント日程に合わせたチラシ・広報誌の作成を行い、幅広い層への情報発信を図った。特に、紙媒体での情報収集が多い高齢層や熊本市民への周知を重視し、市政だよりへの掲載を通じて、イベントの魅力や開催目的を分かりやすく紹介した。これらの広報活動により、市内外への認知度向上と参加促進につながった。

テレビ・CM・ラジオ



テレビ・ラジオでイベント内容を効果的に発信し、多様な世代へ周知を図ることで来場促進と認知向上につながる広報を実施した。

協賛企業



くまもと花博の開催にあたり、多くの企業様からご協賛をいただくことができた。広報活動を通じてイベントの目的や地域への波及効果を丁寧に伝えたことで、企業の皆様に本事業の趣旨をご理解いただき、積極的なご支援につながったものである。

5. ボランティア

ボランティアの活動

ボランティアに延べ420人

今年のくまもと花博では、市民協働をテーマに掲げ、延べ420名のボランティアの皆さまにご参加いただいた。花博の象徴となった「花のトンネル」の制作だけでなく、会場装飾や体験プログラムの準備、各種イベントの運営補助など、多岐にわたる場面で力を発揮していただいた。多くの市民の皆さまが主体的に関わったことで、花と緑を通じた協働の取組が一層広がった。



6. 来場者・アンケート結果

○来場者数19万人

【街なかエリア】		人
オープニングイベント	33,000	
エンディングイベント	12,000	
花のトンネル	23,879	
その他	90,447	
街なかエリア合計	159,326	

【水辺エリア】		人
ジェーンズ邸フラワーダイニング	2,000	
みなも祭り	2,000	
探鳥会	49	
ナノハナ種まき	83	
ガーデンコンテスト（動植物園）	11,529	
水辺エリア合計	15,661	

【まち山エリア】		人
アートトレイルin託麻三山	12,507	
その他	1,300	
まち山エリア合計	13,807	

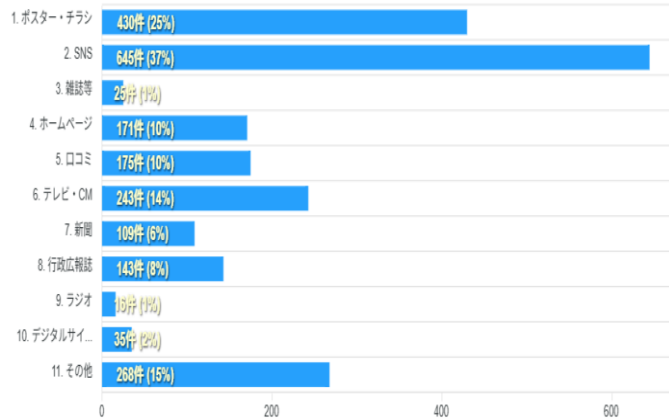
総来場者数 188,794人

目標来場者数10万人を大きく上回り、多くの方々に来場いただいた

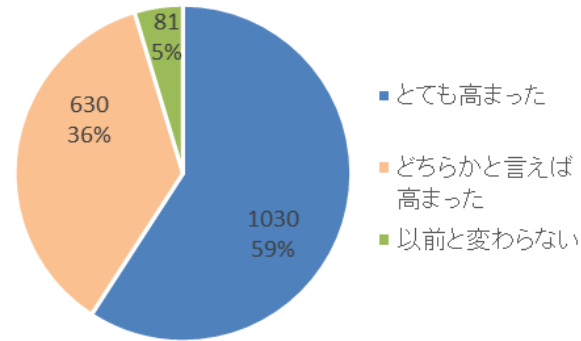
○親子での来場者が増加

来場者は昨年同様、若年層から高齢層まで幅広く、特に30代・40代が約半数を占め、子育て世代の来場が目立つ結果となった。アンケートでは「子どもも楽しめた」との声が多く、親子での体験がステークホルダー育成にも寄与したと考えられる。また、95%が花や緑への関心が高まったと回答し、この高まりを今後の取組に繋げることが重要と考える。認知経路ではSNSが最多（645件）、次いでポスター・チラシ（430件）、テレビ・CM（243件）と続き、オンラインとオフラインを組み合わせた広報戦略の有効性が示された。

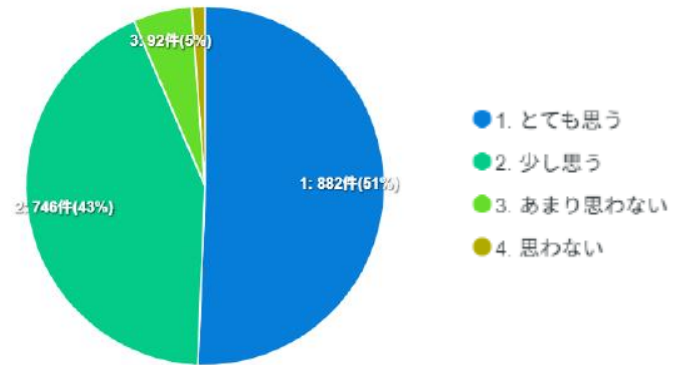
くまもと花博を何で知りましたか？



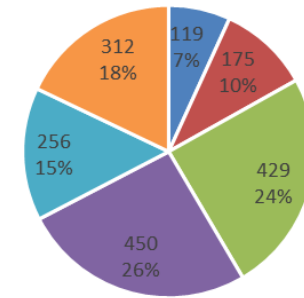
花博来場後、花みどりへの関心は高まりましたか



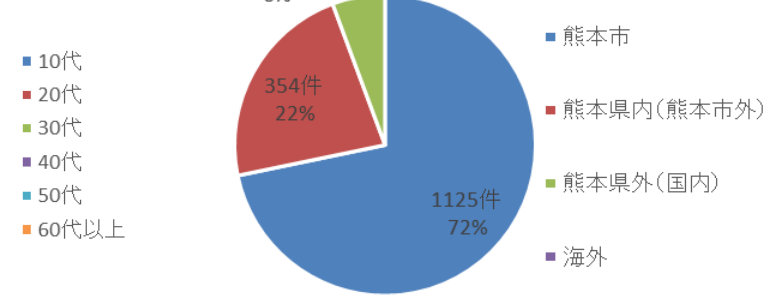
花博をきっかけに、花緑に触れる活動をしてみたいと思いますか



来場者数内訳年齢



居住地



7. アフターイベント

ロスフラワーワークショップ



花のトンネルで使用した花を活用したワークショップを開催。SDGsへの取り組みを推進するほか、ロスフラワーの活用方法を提案し、新たな担い手の育成を図ることを目的とした。

ブーケ・オブ・メモリーズ

高校と中学の卒業生が感謝の気持ちを込めてミニブーケ（ハーバリウム）を作成。作成したミニブーケは卒業式でお世話になった人へのサプライズプレゼントとして、渡された。ハーバリウムは半永久的に残るため「花とみどりを日常に」の第1歩となることも目的としてコラボを実施。



フラワーダイニング



期間中に好評だったフラワーダイニングをアフターイベントで、今回は動植物園の桜・ナノハナ祭りとコラボ。会場にはたくさんの花であふれていた。



8. くまもと花博の成果

市民協働による『くまもと花博』

花のトンネル



サクラマチクマモト前の街なか広場（シンボルプロムナード）には、市民ボランティアの皆さまとともに制作した「花のトンネル」が登場。昼間は色とりどりの花々が織りなす華やかなトンネルを楽しめ、夜間にはライトアップによる幻想的な雰囲気になり、訪れた方々を魅了した。開催期間中の入場者数は24,000人を超え、多くの皆さまに花の魅力を体感いただいた。

フラワーデザインコンテスト&ガーデンコンテスト



初開催となったフラワーデザインコンテストとミニガーデンコンテストは、くまもと花博の新たな魅力として多くの来場者の関心を集めた。両コンテストには個性豊かな作品が並び、一般投票による審査には多くの票が寄せられた。上位入賞者への表彰式では、賞状や記念品が贈られ、会場は温かな拍手と笑顔に包まれた。初開催ながら作品の質の高さも評価され、市民参加型イベントとして大きな盛り上がりを見せた。

初開催となったフラワーデザインコンテストとミニガーデンコンテストは、くまもと花博の新たな魅力として多くの来場者の関心を集めた。両コンテストには個性豊かな作品が並び、一般投票による審査には多くの票が寄せられた。上位入賞者への表彰式では、賞状や記念品が贈られ、会場は温かな拍手と笑顔に包まれた。初開催ながら作品の質の高さも評価され、市民参加型イベントとして大きな盛り上がりを見せた。

里山体験



地元の里山管理団体と緑のマイスターの協力で、里山整備体験イベントを開催。参加者は整備作業や一輪挿し用竹筒づくりを体験し、終了後には竹飯盒での炊飯や炊き出しを楽しんだ。参加者からは「今後も里山整備に参加したい」という声も寄せられ、里山の魅力を広く伝える貴重な機会となった。

他課との連携



おとなりマルシェ（障がい者施設商品販売会）と連携し、来場者が支援活動に触れる機会を創出した。多様な主体との協働により、社会参加の促進につながる取組として実施するとともに、関係課との連携も円滑に進み、より効果的な運営につなげることができた。

緑のマイスターの活躍の場の増加

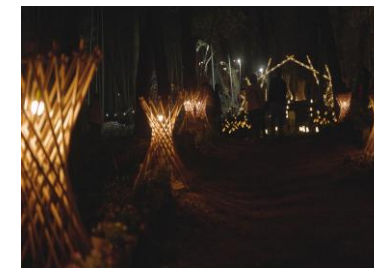


今回は初の試みとして緑のマイスターが立案から計画、実施までを行う「花博ティアップ企画」を総勢34名で、6つの企画を実施。案を出し合い、チームを作るところからスタートし、具体化→資材準備、PRポスター作成→実施。開催当日には、沢山の花博来場者を相手に講師役を勤め、様々な体験を提供。緑のマイスター自らが主体で企画し、盛り上げることもできた。

【実施イベント】

- ①辛島公園 花の小道づくり（ハギソグバスケット制作）
- ②花の寄せ植えWSと辛島公園装飾
- ③フォトコンテスト（全域対象）
- ④雨庭PR（街なか・動植物園）
- ⑤たねだんご作りWS（動植物園）
- ⑥里山体験イベント 竹林作業と竹の工作（戸島山）

熊本市の魅力を更に発見 アートトレイルin託麻三山



自然とアートが融合した特別な空間を演出し、期間中は約13,000人が来場。竹林は幻想的にライトアップされ、竹を使ったアスレチックエリアも家族連れに大好評であった。また、市民協働によるワークショップで子どもたちが制作した竹灯籠を会場各所に配置し、温かな灯りが竹林の美しさをさらに引き立てた。地元の皆さまのご尽力により整備された竹林と、市民の創意が加わった竹灯籠の装飾により、その魅力を広く発信することができた。

報告第2号

くまもと花博2025 決算見込みについて

■令和7年度決算見込み

収入金額 89,293,295円

支出金額 78,103,357円

差 引 11,189,938円 (次年度繰越)

【収 入】

(単位：円)

項 目	予算額 (A)	決算見込額 (B)	差引 (B-A)	主な内容
負担金	79,500,000	79,500,000	0	主催者負担金
協賛金	2,819,230	2,819,230	0	協賛金及び寄附金
繰越金	6,974,065	6,974,065	0	前年度繰越金
合 計	89,293,295	89,293,295	0	

※協賛金及び寄附金の内訳は別添のとおりです。

【支 出】

(単位：円)

項 目	予算額 (C)	決算見込額 (D)	差引 (D-C)	主な内容
事務局費	700,000	390,871	309,129	事務局運営経費
事業費	48,393,295	46,254,800	2,138,495	街なかエリア実施運営費
	20,200,000	12,161,704	8,038,296	水辺エリア実施運営費
	2,000,000	1,600,000	400,000	まち山エリア実施運営費
	5,000,000	2,426,202	2,573,798	会場運営費 (警備・駐車場案内スタッフ等)
	13,000,000	15,269,780	△2,269,780	観客誘致・広報宣伝費
合 計	89,293,295	78,103,357	11,189,938	

※支出内訳詳細は次項に掲載

■令和7年度 支出内訳

項目	金額 (円)
事務局費	小計 390,871 円
実行委員会総会開催経費、消耗品購入費、振込手数料等	390,871
街なかエリア	小計 46,254,800 円
花壇・花装飾関係経費	27,130,000
ワークショップ関係経費	3,300,000
中心市街地商業施設および民間タイアップイベント経費	15,824,800
水辺エリア	小計 12,161,704 円
民間タイアップイベント経費	182,930
ワークショップ関係経費	680,000
水辺エリア各種イベント運営経費	11,298,774
まち山エリア	小計 1,600,000 円
まち山エリア運営経費	1,600,000
会場運営費	小計 2,426,202 円
運営管理費用等 (街なかエリア・水辺エリア・まち山エリア)	2,426,202
観客誘致・広報宣伝関係	小計 15,269,780 円
紙面広告 (ポスターチラシ・新聞折込・フリーペーパー等)	1,355,320
テレビ CM、SNS 広告、広報動画制作等	13,914,460

支出計 : 78,103,357 円

※別途、まち山エリア森林環境教育事業として、熊本市より 10,500,000 円支出

協賛						
No.	振込日	金額	企業名	代表者職・氏名	郵便番号	住所
1	12月15日	330,000円	医療法人 幸会 なかの耳鼻咽喉科アレルギー科クリニック	理事長 中野 幸治	862-0962	熊本県熊本市南区田迎4丁目9番41号
2	12月25日	110,000円	株式会社ヒューマン・ライフ	代表取締役 松崎 武則	861-8006	熊本県熊本市北区龍田3丁目32-18
3	12月26日	330,000円	株式会社通宝	代表取締役 塚田 一成	862-0946	熊本県熊本市東区画図町所島1100
4	12月30日	330,000円	株式会社 永野商店	代表取締役社長 永野 順也	861-8072	熊本県熊本市北区室園町10-22
5	12月30日	110,000円	株式会社 福德開発	代表取締役社長 内村 真一朗	861-5514	熊本県熊本市北区飛田4-6-60
6	1月30日	110,000円	株式会社フジバンビ	代表取締役社長 松本 順次	861-5515	熊本県熊本市北区四方寄町 1445-1

寄附						
No.	振込日	金額	企業名	代表者職・氏名	郵便番号	住所
1	3月6日	1,500,000円	アデル・カーズ株式会社	代表取締役 池永 成正	861-4101	熊本県熊本市南区近見6丁目22番70号

※熊本市負担金のうち、企業版ふるさと納税等による寄附

・鹿児島銀行 ・株式会社江良水産 ・マインドソフトウェア株式会社

一人一花運動



「一人一花運動」とは… 花を飾る、見る、育てる

市民・企業・行政一人ひとりが、花を育て、まちを育てる。
公園や歩道、職場や家庭などの花づくりを通じて、人や地域社会のつながりを深め、
心豊かな暮らしと、魅力あるまちづくりを目指す取組、
それが森の都の『一人一花運動』です。

市民・企業・団体が参加可能な制度について

以下のような制度により、市民・企業・団体等と協働でこの運動を進めてまいります。

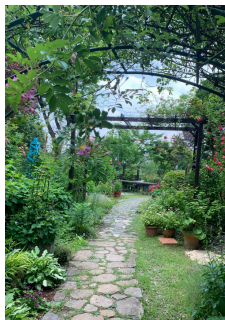


1 パートナー花壇

道路から望むことができる個人宅のお庭・プランター、企業敷地の花壇、地域で作る花壇(道路、公園、河川敷)などが対象です。
花で地域に笑顔を広げ、一体となって魅力あるまちづくりを進めています。



2 オープンガーデン



個人宅や企業のお庭・花壇を
期間限定で一般公開する取組です。
花を通じた交流を楽しみながら、
熊本のまちを彩ります。
春(3~5月)と秋(10~11月)に
開催しています。



3 緑のマイスター



市の養成講座を受講し修了すると、
熊本市認定の緑化リーダーとして認定されます。
花壇づくりや講座講師など、地域で活躍しています。



4 スポンサー花壇

協賛企業からの協賛金により管理する
街なかの花壇やプランターを企業ロゴ
を掲出した芳名版とともに設置してい
ます。協賛金は水やりなどの管理作業
に係る経費に充てています。



5 一人一花運動サポーター



一人一花運動の趣旨に賛同する個人、
事業者及び団体の皆様からの寄付受入
制度。寄付金は、花と緑のまちづくり
に活用しています。

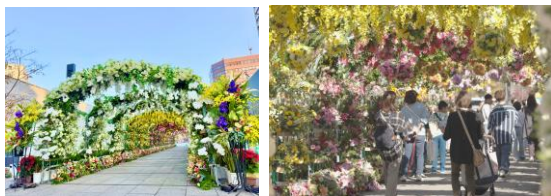
一人一花割引制度

①~③の活動者に対して、活動で使用する花苗・園芸用品を
割引協力店で5%割引

街なかエリア

(1) 辛島公園エリア

花のトンネル



毎年好評の「花のトンネル」を前回同様サクラマチ横のシンボルブルムナードに設置。市民ボランティアや地域の方々と協力し、『市民協働』で作り上げていく。花博の開幕日にはお披露目イベントとして開通式を行う。

(2) 新市街エリア

ミニガーデンコンテスト

くまもと花博2025では植物園内で開催したコンテストを、2026は新市街アーケードで開催。より多くの人にコンテストに参加していただける環境で、審査方法なども再考した新たなコンテストを開催する。



[こどもの職業体験] ☆やるキッズ☆

市内の花屋さんなどに協力してもらい、花・緑に関する職業体験のイベントを開催する。こどもが花・緑に触れる場となり、学びの機会となる。



(3) 上通・下通エリア

フラワーデザインコンテスト

くまもと花博2025でフラワーデザインコンテストを初開催。約50点もの個性豊かなアレンジメントは、さまざまな花の楽しみ方や表現方法があることを知っていただく機会に。



中心市街地 商業施設タイアップ

COCOSA・HAB@など、中心市街地の核となる各商業施設と、花の装飾飾・展示や広告等のタイアップの取組を行い、中心市街地内の回遊性を向上。

〈今年度参考〉
COCOSA(ミニツリー作り) HAB@(キャンドル作り)等



フラワーワークショップ

美しいフラワーアレンジメントなど、自分の手で花や緑を使って作成する喜びや楽しさを体験できる場の展開。
作成したものを各家庭に持ち帰ることで、日常に心と体を癒す花や緑で彩る。



(4) エリア未定

商店街独自のイベント

上通・下通・新市街それぞれアーケード内商店街の繁栄会で商店街の特色を生かした取組を実施。
商店街を中心に市民が主体となってイベントを作り上げていくことで、花博が市民活躍の場となる。



- ・商店街の特色に合わせたタイアップイベントの開催 (例: フラワーマルシェ、ワークショップなど)
- ・アーケード内での花・みどりの装飾

他部署連携

庁内の他部署と連携し花や緑に関する物販やワークショップ等を実施。

〈今年度参考〉
おとなりマルシェ(障がい福祉課)



水辺エリア

(1) 水前寺エリア

水前寺WhiteXmas 文化財課との共同開催

12月上旬(予定)



県内に現存する最古の洋館「熊本洋学校教師ジェーンズ邸」にて、花装飾を実施。
また、粧華プロデュースによるフラワーワークショップを開催予定。「花と緑を日常に」をコンセプトに掲げ、ジェーンズからつながる植物のある暮らしの提案。



(2) 上江津エリア

江津湖living タイアップ

10月上旬(予定)

くまもと江津湖魅力化推進協議会が企画。熊本で人気のショップが集まり、家族で一日楽しめるマルシェを開催。上質な音楽とともに、江津湖の豊かな自然に囲まれた癒しひとときを。江津湖の保全について学べるブースも設置。



上江津探鳥会 タイアップ

11月上旬(予定)

日本野鳥の会熊本県支部による、秋の野鳥観察会を開催。秋の江津湖で出会えるカワセミ、ゴイサギ、カイツブリやヒドリガモ、オオバン、ジョウビタキなどの野鳥を観察。



(3) 動植物園エリア

ナノハナ種まき体験会

11月中旬(予定)

動植物園のコスモス大花壇が、春のナノハナへと衣替え。ナノハナの種まき体験会を実施します。多くの方から自分たちで植えたナノハナが来年咲くことを楽しみにしているとの声をいただけます。



肥後六花のPR

11月上旬(予定)

熊本市動植物園の肥後六花展示エリアにて、肥後山茶花が見ごろを迎えるため、PRを積極的に行い、くまもと花博を通して、熊本で受け継がれる肥後六花の歴史や思いに興味を持っていただく取組。



(4) 下江津(広木)エリア

みなも祭り タイアップ

10月下旬(予定)

熊本市造園建設業協会による企画。「江津湖の水と緑をみんなでもっと楽しもう」をコンセプトに、地上絵や飲食・物販のマルシェ、自然観察会、江津湖クルージングなど、盛りだくさんのイベントを開催。



連携した「まちづくり」の推進

まちづくり
センター



くまもと
花博

くまもと花博は、R7年度に行政主導から市民参画へ大きく舵をきったところ。
地域においても、くまもと花博「まち山エリア」の開催を活用し、地域資源の再発見や
地域連携の強化につなげ、単年度のイベントに留めず、持続的な地域活動へと発展させ、
地域住民によるまちづくりにつなげるきっかけとしていただきたい。

- まちづくりセンター：地域の住民同士で支えあって安心して暮らせるまちづくり
- 森の都推進部：花とみどりがあふれるまちづくり



【現在の連携状況】

まちづくりセンターと森の都推進部は、それぞれの手法で「上質な生活都市くまもと」実現に向けたまちづくりを推進しており、区役所等と熊本市緑の基本計画アクションプランや一人一花運動、くまもと花博において連携した取組を展開中



【東区】山のお仕事体験



【東区】木育イベント



【西区】ウェルカム花壇



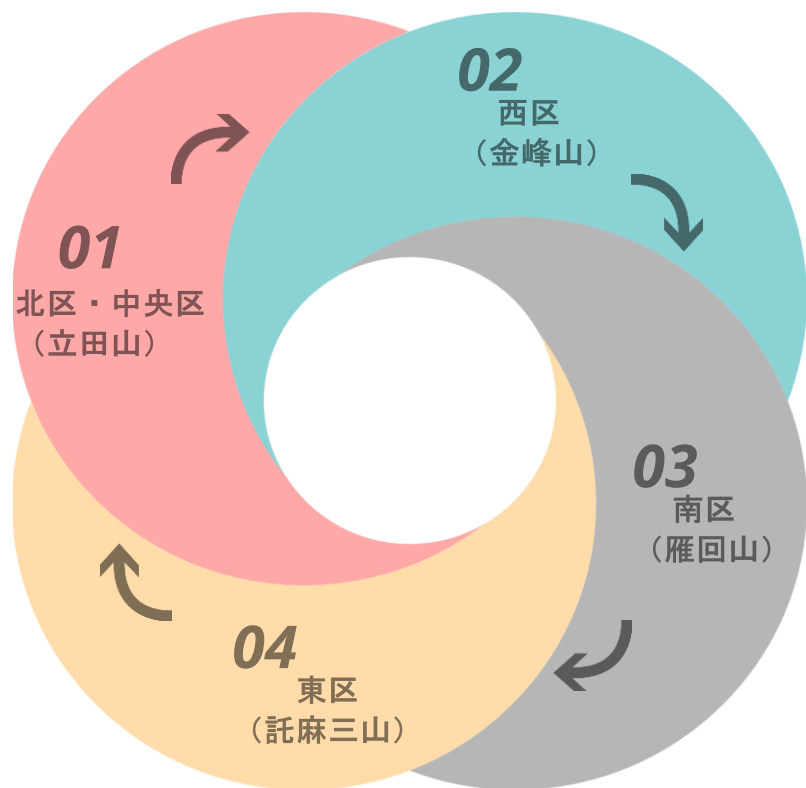
【北区】こどもまつり



基本構想

くまもと花博の「まち山エリア事業」は、北区・中央区（立田山）・西区（金峰山）・南区（雁回山）・東区（託麻三山）の各区を基本ローテーションとして順次開催するものとする。

開催にあたっては、該当区および地域の意向や協力体制を確認し、地域の状況に応じた企画を検討することで、地域に寄り添った取り組みとする。



STEP 01



該当区への情報共有及び調整

次年度のまちやまエリアの会場として選定し、各区及びまちづくりセンターとして地元の意見を吸い上げて企画を検討する。

前年度
9月
月上旬頃

STEP 02



まちづくりセンターとの調整

地域とまちづくりセンターの協力体制について協議。

STEP 03



まちづくりセンター職員と打合せ

具体的な協力内容や自治会の紹介、打ち合わせ日の調整など

STEP 04



自治会と顔合わせ

顔合わせ及び自治協議会への説明、意見交換のワークショップの開催

議案第 3 号

令和 8 年度予算 (案)

令和 7 年度収支予算

収入金額 65,189,938円

支出金額 65,189,938円

差 引 0円

【収 入】

(単位：円)

項 目	金 額	主な内容
負 担 金	54,000,000	主催者負担金
繰越金	11,189,938	前年度からの繰越金
合 計	65,189,938	

【支 出】

(単位：円)

項 目	金 額	主な内容
事務局費	700,000	事務局運営経費
事業費	64,489,938	事業費はくまもと花博の方向性が決まり次第振り分け、次回の実行委員会の際にご報告させていただきます。
合 計	65,189,938	

議案第4号

くまもと花博実行委員会 委員の変更について

くまもと花博2026「まち山エリア」の開催地を
託麻三山一帯から変更することから、
下記のとおりくまもと花博実行委員会の委員を変更する。

旧

所属団体名・役職	氏名
託麻北校区自治協議会 会長	いずみ けいち 泉 恵市
託麻東校区自治協議会 会長	たなか ほづみ 田中 穂積

新

所属団体名・役職	氏名
校区自治協議会 会長	未定
校区自治協議会 会長	未定

參考資料



熊本市森の都推進部

一人一花運動 Newsletter

～一人一花運動の情報をお届けします！～

2026 03 VOL.6

こんにちは！熊本市森の都推進部です。
今回のお便りでは、オープンガーデン特集等についてご紹介します✳

TOPIC 01

くまもとオープンガーデン2026開催！

オープンガーデンとは…

一人一花運動の一環として、個人のお宅や地域、企業のみなさまが大切に育てられているお庭や花壇などを会場として紹介し、来場者に巡って楽しんでいただくイベントです。毎年、春(3～5月)と秋(10～11月)に開催しています。



✳ くまもとオープンガーデン2026 ✳

【開催期間】令和8年3月21日(土)～5月24日(日)

6回目となる今回は約2か月間、市内34箇所のお庭で開催。
実施場所など今後の情報はHPにて更新していきますので、みなさまぜひチェックしてみてくださいね！



詳しくはコチラから↑

TOPIC 02

記念樹配布事業を実施しました！

市内にお住まいで、配布対象となる記念を迎えた方に約5,000本の「記念樹」を配布しました！

令和7年度申込樹種ベスト10

- 第1位：ブルーベリー (1,167本)
- 第2位：レモン (1,158本)
- 第3位：オリーブ (566本)
- 第4位：ユーカリ
- 第5位：キンモクセイ



- 第6位：イロハモミジ
 - 第7位：ドウダンツツジ
 - 第8位：アジサイ
 - 第9位：コデマリ
 - 第10位：ゲッケイジュ
- (上位3種のみ本数表示)

参加された方々がネットから植樹場所を登録した『植樹マップ』もCHECK✳



TOPIC 03

春の一人一花ハナノワWEEKSの開催について

【日時】令和8年3月20日(金・祝)～4月5日(日)

市民協働で花とみどりの魅力を広げる「一人一花運動」の一環として、街なかや動植物園で行われる花のイベントをつなぐ「一人一花ハナノワWEEKS」を初開催！
一人一花運動のスタートを記念した各種イベントで春の熊本を満喫してみませんか？



詳しくはコチラから↑

一人一花ハナノワフェス 3月28日(土)～3月29日(日) 場所：辛島公園

キッズマルシェ

こどもたちのお花屋さん体験イベントを開催！
こどもたちが作ったミニ花束やアレンジメントを販売するマルシェイベントや、事前申込不要で参加可能なミニサイズの寄せ植え体験も実施します♪



ハンギングバスケットコンテスト

市民のみなさまが心を込めて制作した作品を辛島公園に展示する、ハンギングバスケットコンテストを開催します！
会場では、審査員による選考に加え、来場者のみなさまの投票も実施しますので是非ご参加ください♪



さくら菜の花まつり 場所：動植物園 くまもと花博 場所：動植物園

3月20日(金・祝)～4月5日(日)

桜と菜の花が満開となるこの時期を満喫できる「さくら菜の花まつり」が開催されます！
動物たちにお花をプレゼントする「一匹一花」など、春の訪れを感じていただける特別な催しが盛りだくさんです。

くまもと花博 フラワーダイニング 3月20日(金・祝)

3月20日(土)に春の花を楽しむフラワーダイニングを開催します！
会場内には多数のキッチンカーが出店し、ロスフラワーを使ったワークショップイベントも体験いただけます。

スポンサー花壇も見頃を迎えます✳

辛島公園～花畑公園の歩道沿いにある、企業からの協賛金で運営している「スポンサー花壇」。
チューリップなどの季節の花が咲き誇り、美しい景観が楽しめます。ぜひご覧ください♪





熊本市森の都推進部

一人一花運動 Newsletter

～一人一花運動の情報をお届けします！～

2026
02
VOL.5

こんにちは！熊本市森の都推進部です。

今回のお便りでは、スポンサー花壇特集等についてご紹介します✨

TOPIC 01

スポンサー花壇特集

～花によるまちづくりに企業も参画しています！～

スポンサー花壇Q&A

スポンサー花壇って？…協賛企業の皆様からいただいた協賛金により管理している、街なかの花壇やプランターのことです。

協賛金の使い道は？…水やりなどの管理作業に係る経費に充てています。

花壇はどこにあるの？…

花畑町・辛島町の電車通り沿いの花壇、通町筋の歩道あるBOXプランター。そのほかの場所にも、今後拡充していく予定です。

(※現在設置されている花壇・プランターの位置については、右図の赤色に示す箇所をご覧ください。)



協賛企業 絶賛募集中！

この事業に協賛していただける企業様を随時募集中です！

一〇五万円からご協賛いただけますので、**花によるまちづくり**にぜひご参加ください😊

【協賛特典】

- ・花壇およびプランターに企業名のロゴを掲出
- ・熊本市ホームページや発行物、森の都くまもとのSNS等に企業名を掲出



通町筋のBOXプランター

ボランティア活動で、ナチュラルスティック花壇づくり

花畑町・辛島町のスポンサー花壇は、ガーデニングクラブ「ゆるっとなガーデナーズ」さんが、週に1回花がら摘みや草取りなどの管理をしてくださっています。飛び込み参加も歓迎のようですので、ぜひチェックしてください🌻

Instagram : @yuruttona_gardeners



発行 / 熊本市みどり政策課 ☎096-328-2523 Email midoriseisaku@city.kumamoto.lg.jp

TOPIC 02

緑のマイスタースキルアップ講座 (第5回) in熊本市動植物園

緑のマイスターの緑化に関する技術向上を目的にスキルアップ講座を年7回実施しています！

今回は、樹木剪定の仕方、害虫駆除対策、肥料の与え方等について講師に樹木医をお迎えし、座学と実技を実施し、学びを深めました。



講座で修得した技術は、各種イベントやボランティア活動で発揮予定です！マイスターの派遣要請はいつでも相談を受け付けていますので、花とみどり協働課(☎096-328-2352)までご一報下さい。



TOPIC 03

市役所内の一人一花運動取組のご紹介！

環境総合センターでは、11月にパンジーの植え付けを行いました。

これは、当センター及びその周辺の景観を楽しんでいただく一助となるよう、取り組んでいるものです。今年は、地域の自治会及び老人会から3名の方々にご協力いただき、職員と共に植え付けを行いました！



交通局では、12月に交通局園芸部が始動！交通局の合言葉・挨拶である「ご安全に」の文字をかたどり、安全カラーの黄色のパンジーをメインに植付を行いました！花が成長し、文字が徐々に浮かび上がってくる様子が、楽しみです🌻

EVENT

くまもと春の植木市開催中！2026年2月1日(日)～3月11日(水)

会場には、一人一花運動の◎ロゴ看板設置 ◎ステッカー&ピック配布中
ぜひ会場にお越しいただき、あなたの一花を見つけてください！

NEXT >> 3月号は、オープンガーデン特集です！



熊本市森の都推進部

一人一花運動 Newsletter

～一人一花運動の情報をお届けします！～

2026 01 VOL.4

謹賀新年

新年のお喜びを申し上げます
本年もよろしくお願いたします

今回のお便りでは、12月に行った『地域への花苗配布』と市役所内で実施した『ポインセチアで彩る☆クリスマス大作戦』等についてご紹介します！

TOPIC 01 地域への花苗配布について

12月8日から21日にかけて自治会へ花苗を配布を行いました！公園や道路沿いの花壇に植えられた花々が地域に明るさと元気を届けています！この事業は約50年間続いており、最近では自治会の皆さまが自主的に花苗を購入し、植栽を楽しむ動きもあり、花によるまちづくりが広がっています✨



花苗配布事業とは？

年2回（夏と冬）に、町内自治会や社会福祉施設を対象に市から花苗を配布しています。毎回、約700団体が受け取られて地域で植え付けを実施し、花で街を彩っています。



TOPIC 02 市民ボランティアと一緒にスポンサー花壇へ球根植付を行いました！



辛島町の電車通り沿いにあるスポンサー花壇と辛島公園に春咲きの球根を植え付けました。市民ボランティア10名、スポンサー花壇の協賛企業である第一生命様、東急会様より5名の方にご参加いただき、皆さん楽しみながら作業されました！今回植えたチューリップなどは、春頃に花開く予定です🌷

TOPIC 03

ポインセチアで彩る☆クリスマス大作戦

くまもと花博の「花のトンネル」やジェーンズ邸で開催された「水前寺WhiteXmas」で使用したポインセチアを、一人一花運動の一環として庁内の希望部署、約50箇所に配布しました！

オフィス緑化に取り組むことで、職場に華やかさと癒しをプラス！配布した部署からは、来庁された市民の方々から「きれいだね」「華やかだね」といった嬉しい声が寄せられ、職員からも「癒されます！」との声が届いています♡

さらに、課ごとに工夫した飾り付けを楽しんだり、保育園では子どもたちが水やりのお世話をするなど花によるまちづくりが広がっています！来年もポインセチアを色づけるように努めてまいります🎄🌿



TOPIC 04

12月に実施した緑の基本計画アクションプログラム

地域花壇づくり事業～上熊本エリア～

12月3日（水）に花園五丁目愛護会、熊本看護専門学校、つくし保育園、熊本製粉の皆様と協働で花園五丁目公園花壇に約800株の花苗を植え付けました！多くの方々のご参加もあってきれいな花壇を仕上げる事が出来ました。



お正月アレンジメント教室 ～楠・武蔵ヶ丘エリア～

12月25日（木）、武蔵ヶ丘病院カロリーーカフェにてフラワーアレンジメント教室を実施し、地域にお住まいの方々にご参加いただきました。フラワーショップGreen & Red様を講師にお迎えし、季節の花を使用した彩豊かなアレンジメントが完成しました🌸





熊本市森の都推進部

一人一花運動 Newsletter

～一人一花運動の情報をお届けします！～

2025
12
VOL.3

こんにちは！熊本市森の都推進部です。
今回のお便りでは、『一人一花割引制度の対象者』と
11月に開催された『くまもと花博2025×一人一花運動』についてご紹介します✨

TOPIC 01 一人一花割引支援の対象者になるには？

一人一花運動に参加可能なメニューをご紹介します！以下の制度に参加していただく
と活動で使用する花苗・園芸用品を登録店で5%割引を受けることができます。

1 **パートナー花壇** 企業向け 個人向け 地域団体向け

詳細はこちら →

★花や緑を通して地域を元気にしたい方にオススメ！

道路から望むことができる個人宅のお庭・プランター、
企業敷地の花壇、地域で作る花壇(道路、公園、河川敷)
などが対象です。花で地域に笑顔を広げ、みんなで魅力
あるまちづくりを進めていきましょう！



2 **オープンガーデン** 企業向け 個人向け

詳細はこちら →

★ご自分のお庭や花壇を見てもらいたい方にオススメ！

個人宅や企業のお庭・花壇を期間限定で一般公開する取組
です。花を通じた交流を楽しみながら、熊本のまちを彩り
ます。春(3～5月)と秋(10～11月)に開催しています。



春のオープンガーデン
参加者募集中！

3 **緑のマイスター** 個人向け

詳細はこちら →

★教える側になりたい方にオススメ！

市の養成講座を受講し修了すると、
熊本市認定の緑化リーダーとして
認定されます。花壇づくりや
講座講師など地域で活躍できます。



第5期生の募集は
令和8年4月中を予定！

TOPIC 02

くまもと花博2025×一人一花運動

令和7年11月15日から24日までの10日間にわたり「くまもと花博2025」を開催しました。
今回は、市民協働で行ったイベントレポートをいくつか紹介します。

街なかエリア ～「花のトンネル」装飾ボランティア～

街なかエリア目玉のコンテンツである
「花のトンネル」を市民ボランティアの皆様と
ともに作り上げました。

当日は約40名のボランティアの皆様にご参加いた
だき、季節の色鮮やかな花々を楽しみながら作業
をしていただきました✨



水辺エリア ～初開催！ミニガーデンコンテスト～

11月15日から11月24日の期間、熊本市動植物園
(植物園噴水前)で市民参加型イベント「ミニ
ガーデンコンテスト」を初めて開催しました！

総勢20組の個人や団体が制作した個性豊かな
ガーデンがずらりと並んだ景色は圧巻で、
入賞者を決める一般投票には約1,400票が寄せ
られました✨



熊本市賞



くまもと花博
実行委員会賞



熊本市造園
建設業協会賞



スポンサー花壇に 球根植付を行いました！

with 「株式会社ボルテックス」様・「肥後銀行」様

令和7年10月28日に一人一花運動
を応援していただいているボル
テックス様とご紹介者の肥後銀
行様と一緒に、スポンサー花壇
への球根植付を行いました。



水辺エリア ～動物プランターで花と笑顔をお届け！～

熊本市動植物園（植物園前）でどうぶつの形をした可愛らしいプランターの展示が行われました。泉ヶ丘小学校の生徒が花を植え、子どもたちは楽しみながら植物に触れ合いました！花博期間中、色とりどりの花を咲かせたプランターは、植物園を訪れた人々に**笑顔**を届けていました。



まち山エリア ～かぐや姫プロジェクト～

放置竹林の間伐材を活用した竹のプランターに小・中学校とこども園の皆さんが花を植え付け、花博会場となった熊本市動植物園とまち山エリアに飾りつけました！このプランターは、熊本県森林組合連合会と、放置竹林対策の活動している森林の活動団体の皆さまがボランティアで制作してくれたものです。地域の多くの人々が協力して完成させたこの取組は、「**かぐや姫プロジェクト**」として花博を彩りました。



一人一花運動×北区総務企画課 ～北区こども祭り～



11月8日(日)、熊本市植木中央公園運動施設で開催された「北区こども祭り」は、屋内外ともに大盛況でした。今回のイベントでは、「一人一花運動」に関連して、会場に花の装飾を設置。来場者の皆さんに花と緑の魅力を楽しんでいただきました！

緑のマイスター、花博で初のイベント企画に挑戦！



今回のくまもと花博では、緑のマイスターが班ごとに分かれ、各エリアでイベントの企画から実施までを担当しました。初めての試みで準備段階では色々と試行錯誤を重ねて、当日は無事にイベントを成功させました！



<写真1>



<写真2>



<写真3>



<写真4>



<写真5>

- 写真1：脱炭素ミニセミナーと花の寄せ植え体験
- 写真2：フォトコンテスト
- 写真3：雨庭PR花壇
- 写真4：里山体験イベント
- 写真5：たねだんごづくり体験



一人一花運動×スポーツ振興課 ～熊本マスタースジャパン2025～



11月11日(火)～16日(日)に開催された熊本マスタースジャパン2025では、「一人一花運動」の一環として、熊本県立総合体育館の選手出入口と公式練習会場のナースパワーアリーナに花壇を設置し、会場を彩りました。花を通じて、バドミントンの大会の熱気とともに笑顔が広がる空間を作り上げました！

NEXT>>1月号は、地域への花苗配布についてご紹介します！



熊本市森の都推進部

一人一花運動 Newsletter

～一人一花運動の情報をお届けします！～

2025 11 VOL.2

こんにちは！熊本市森の都推進部です。
今回のお便りでは、10月に各区役所で行われました『花の育て方講習会』と11月から開始された『一人一花割引』についてご紹介をします✨

TOPIC 01 各区役所で”花の育て方講習会”を実施しました！

一人一花運動の記念すべき第1弾イベントである「花の育て方講習会～区役所のウェルカム花壇をつくろう！～」が行われました！



10月18日開催 東区役所/

区役所正面にシンボルツリーがある「東区役所」は、ナチュラルスティックガーデンをイメージし、シンボルツリーを囲むようにカレックス・ステイパなどのグラス類をたくさん植え、素敵な空間に大変身しました！



10月19日開催 西区役所/

四季折々の花畑が魅力の「西区役所」には、セロシヤ・キンギョソウ・センニチコウなど、すべて一年草で揃えて華やかな花壇にしました！
お子様がたくさん参加してくれました！



10月19日開催 南区役所/

松が特徴的で和の雰囲気漂う「南区役所」には、ギボウシやシュウメイギク・宿根センニチコウなどの宿根草を中心に、モダンで落ち着いた雰囲気に仕上げました！終始笑顔が絶えない楽しい会になりました！



10月25日開催 北区役所/

エントランスそばに花壇がある「北区役所」には、ダリア、ガイラルディア、サザンクロスなどの大ぶりで華やかな花を使用し、豪華な仕上がりになりました！春にはアネモネも咲くので、開花が待ち遠しいですね！

講習会の中では、講師の方から、植え方や育て方のコツだけでなく、水やりのポイントまでしっかりと説明がありました！

区役所に立ち寄られた際は、ぜひウェルカム花壇を鑑賞してくださいね～！

宿根草 とは・・・？



主に春から秋にかけて葉や花が楽しめ、複数年かけて成長していきます。冬期等には地上部の葉が枯れることがありますが、根は生きていて、活動期になると再び芽吹きはじめます。季節ごとの変化を楽しむことができますよ♪
対して、パンジーやマリーゴールドのような「一年草」は数か月で花が咲いて枯れていく植物の総称です。

TOPIC 02 11月1日から一人一花割引が開始！

『一人一花割引』制度とは、市民や団体の花づくり・緑化活動を、登録園芸店での割引を通じて応援する仕組みです！割引については、この運動に賛同された店舗に登録いただき、成り立っています。

この制度により、より多くの方が花によるまちづくりに参加することや、市民活動の活性化が期待されています。

制度概要

緑化活動に取り組まれている個人・団体を対象に登録店舗にて苗や園芸用品等を5%割引

一人一花割引 協力企業様



支援の対象者

- ・パートナー花壇 登録者
- ・オープンガーデン参加者
- ・熊本市緑のマイスター

一人一花割引に関する詳しい内容はこちらから➡



一人一花運動に関する情報はこちらから➡



NEXT>>12月号は、一人一花割引支援の対象者になるには？についてご紹介いたします！



熊本市森の都推進部

一人一花運動 Newsletter

～一人一花運動の情報をお届けします！～

2025
VOL.1

こんにちは！熊本市森の都推進部です。
今回のお便りでは、10月15日(水)に城彩苑で行われました福岡市・熊本市
両市長による記者発表のご紹介をします✨

TOPIC 01

熊本市でも一人一花運動始動！



福岡市発祥の『一人一花運動』が本市でも
始まりました。

この一人一花運動は、市民・企業・行政
一人ひとりが、花を育て、まちを育てる。
公園や歩道、職場や家庭などの花づくりを通
じて、人や地域社会のつながりを深め、心豊
かな暮らしと、魅力あるまちづくりを目指す
森の都の取組です。



一人一花運動ロゴについて

「森の都くまもと」をイメージしたグリーンの花かごの中に、
熊本城や肥後六花、熊本の水、市電など、熊本らしさをぎゅっ
と詰め込んだデザインにしました。
特に、市の花である肥後椿をはじめとした肥後六花について
は、保存会の皆さまからもご助言をいただき、それぞれの花の
特徴を丁寧に表現しました。



TOPIC 02

市民のみなさんとスポンサー花壇・会場づくり！

10月4日、通町筋に設置したスポンサー
一人一花壇に市民の皆様と協働で花植えを
を行い、約50名のボランティアの方々に
ご参加いただきました🌸

10月15日には、第二幼稚園の園児と
緑のマイスターの皆さんと一緒に両市
長記者発表の会場を花で飾りました🌸



TOPIC 03

スポンサー花壇が通町筋に拡大！

熊本市の中心市街地である通町筋に、新たにBOX型プランターを増設しました。
今後も企業の皆様にはこの運動に賛同いただき、花や緑にあふれ、賑わいある熊本
市を一緒に創っていただければと考えておりますので、よろしくお願ひいたします。

